

第52回 愛知学院大学 モーニングセミナー



[あいち トリエンナーレ2010]とは?!

原 久子 Hisako Hara

あいちトリエンナーレ2010 アソシエイトキュレーター
大阪電気通信大学総合情報学部 教授

平成22年7月13日

「トリエンナーレ」ってなに？

- イタリア語を語源とする言葉で、3年に一度開かれる国際美術展のことを指す。
- 国内では
- 「福岡アジア美術トリエンナーレ」(1999年～)
- 「越後妻有アートトリエンナーレ」(2000年～)
- 「横浜トリエンナーレ」(2001年～)
- などが開催されている。

AT2010の開催まで...

- 2008年3月 国際芸術祭の基本構想発表
- 開催目的
 - (1) 新たな芸術の創造・発信により、世界の文化芸術の発展に貢献します。
 - (2) 現代芸術の普及・教育により、文化芸術の日常生活への浸透を図ります。
 - (3) 文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図ります。

芸術家たちを育んできた土壌

- 愛知は気鋭の芸術家を数多く輩出してきた。今回のトリエンナーレでも若手を中心に多くの愛知県出身のアーティストたちの作品を紹介することになる。
- 有数の美術館の存在、美術専門教育機関もある。

どこでやるの？

- 愛知芸術文化センター(栄)
- 名古屋市美術館(白川公園内)
- 長者町地区(日本有数の繊維問屋街)
- 納屋橋会場(堀川に面した旧ボーリング場)
- オアシス21(栄)
- 名古屋城二の丸公園
- セツ寺共同スタジオ(大須観音) ほか

どんなことをやるの？

- 国際美術展の多くはヴィジュアルアートが主に
出展されるのだが、AT2010はパフォーマンス
アーツ(ダンス、舞台芸術ほか)を数多く紹介
するのもひとつ大きな特徴だ。
- 平田オリザ＋石黒浩研究室(大阪大学)
- ロボット版『森の奥』-世界初演-俳優とロボットが共演

- ヤン・ファールブル(ベルギー) -日本初演-
- 『Another Sleepy Dusty Delta Day
- 〜またもけだるい灰色のデルタデー』

- チェルフィツチュ(日本) -世界初演-
- 『わたしたちは無傷な別人である』

- ほか

プロデュースオペラ

- ジャック・オッフエンバック作曲
 - オペラ『ホフマン物語』
 - 指揮：アッシャー・フィッシュユ
 - 演出：栗國淳
-
- 3人の女性とホフマンの悲恋が約130年まえに初演された。この歌劇を栗國がみごとに現代に蘇らせる。

劇場から出たパフォーマンス

- 表現の世界では、いまやジャンルをまたぎ、境界を超えた活動が増えている。
 - 普段は展示スペースである会場を世界屈指の兵たちが占領する。
 - ラ・リボット(フランス)
 - ソニア・クラーナ(インド)
 - スティーブン・コーヘン(南アフリカ)
 - 山川冬樹(日本)
- ほか

屋外に出たパフォーマンスアート

- 長者町地区、名古屋城二の丸公園などでは
- 野村誠（日本）
- まことクラヴ（日本）
- ボリス・シャルマン（フランス）
- コンタクト・ゴンゾ（日本）
- 池田亮司（日本／フランス）

ほか